

年間授業計画【新様式】

高等学校令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語
教科：国語 科目：現代の国語 3 単位

対象学年組：第 1 学年
使用教科書： 「現代の国語」（大修館書店）

教科 国語 の目標：
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。	1 明日をひらく 「白紙」 「考える技術—考えさせない時代」に抗して ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	○	○	○	10
・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	2 要点をつかむ ・文章の要点をつかむ 「水の東西」 「『動』への変化」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果		○	○	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	10
中間考査						○	○		1

1 学 期	・話し言葉の特徴を知る。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 ・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。 ・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。 ・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。	3 的確に伝える ・伝わるように話す ・わかりやすく書く 4 意見を示す ・発想を広げる ・意見を書く ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由			【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 ・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 ・目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・説明を書くことを通して、材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。					10
	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	5 論理をとらえる ・文章の論理をとらえる 「動的平衡としての生物多様性」 「自然と人間の関係をとおして考える」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果			【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。					12
	期末考査									
	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 ・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。 ・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	6 魅力的に伝える ・工夫して話す ・魅力的な紹介文を書く 7 資料を駆使する ・資料と文章の関係を読む 「『安くておいしい国』の限界」			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 【思考・判断・表現】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫すること。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 ・「読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとしている。 【知識・技能】 ・文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。					10

	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 ・質問の目的を明確にする。 ・目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。 ・通信文の基本的なルールを知る。 ・相手や場面に応じた通信文を書く。	7 資料を駆使する 「インターネット時代の音楽産業」 ・統計資料をもとに意見を書く 8 他者と交流する ・目的に沿った質問をする ・状況に応じた通信文を書く			【知識・技能】 ・根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の振り返りおよび単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。 【知識・技能】 ・個別の情報を一般化したり、一般化された抽象的な情報を具体化したりしている。 ・通信文に適した語彙を身につけ、使いこなしている。 【思考・判断・表現】 ・質問をしつつ論理展開を予想しながら相手の回答を聞き、聞き取った情報を整理している。 ・目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考えて工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・得られる情報や効果を意識しながら質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。 ・媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。				10
中間調査									1
2 学 期	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ・提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 ・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。 ・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて効果的に発表する。	9 情報を比較する ・文章を比較して読む 「『美しさの発見』について」 ・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果 10 他者を動かす ・説得力のある資料をつくる ・資料を用いて発表する			【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。 【知識・技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・話し言葉の特徴や役割をふまえ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した言葉遣いで話している。 ・話の効果的な組み立て方や接続のしかたについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 ・聞き手の行動の変容を促すために、相手の反応を予想しながら、話の展開や構成を工夫して伝えている。 ・提示する情報を取捨しながら資料を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。 ・熱意をもって自分の考えを伝えるために、話の展開や構成を工夫したり、効果的に資料を用いたりしようとしている。				12

[illegible]